

花みずき



第162号

2022年 12月発行

ひのみね支援学校 人権進路通信

いつのまにか令和4年も過ぎ去ろうとしています。今回の『花みずき』は、2学期を振り返ります。2学期は、人権と進路のPTA研修会にご協力をいただきありがとうございました。新年もよろしくお願いたします。

PTA人権教育研修会（人権コンサート）



12月5日月曜日、ヒゲンジツシュギさんのギタリスト、はんやるはるやさんをお招きしました。残念ながらボーカルの宮地さんはご不在だったため、はんやるはるやさんのギター演奏をお聴きしました。研修会では、ギター演奏やエピソードをお話してくださいました。会場中がはるやさんの優しく温かい語り口調と、熱いメッセージに引き込まれました。お話の中で、「生きていたら100点満点」とありました。ありのままを受け止めることの大切さを、あらためて感じました。感想をいくつかご紹介します。



「すてきなギター演奏ありがとうございました。」
「音楽との出会いのお話、ギター1本で単独でしたが引き込まれるようでした。いろいろな方々をこれからも勇気づけてください。」
「ギターの音色がとても美しく、心に染みるコンサートでした。」



中高生による人権交流集会に参加しました

今年の南部ブロックのテーマは「ジェンダー」。生徒部会は7月以降、オンラインや阿南市ひまわり会館にて数回行われました。本校からは中学部1名、高等部1名が参加し、他にも小松島高校、海部高校、みなと高等学園、阿南第一中学校などの生徒たちが集いました。キャッチフレーズやポスターの選考ではオンラインでホームズアプリを使用して、選考に参加しました。第4回の交流会では帝塚山大学作成の「ジェンダーギャップについて考えるカルタ」を行いました。カルタをした後、それぞれが気になったことや感じたことを話し合い、班ごとに発表しました。本校生徒たちの気になった読み札を紹介します。

『㊦育ては「手伝う」ではなく「する」ものだ』

『㊦らいのは男も同じ「らしさ」求められ』



進路の取り組み紹介

PTA進路研修「施設見学」

9月21日に希望された小・中・高5名の保護者の皆さんと、「健祥苑（徳島市宍神町）」の見学に行ってきました。施設内の障害者支援施設（入所施設）では、居室や食堂といった生活スペースを見せていただきました。生活介護事業所（通所）では、利用者さんが談笑しながら過ごされている様子や余暇活動で制作した作品を見せていただきました。別棟の授産センター（就労継続支援B型事業所）では、机やパソコンに向かって熱心に作業されている利用者さんの様子を拝見しました。案内してくださった職員さんからは、医ケアの現状について等、詳しくお話を伺うことができ、保護者の皆さんはしっかりと耳を傾けておられました。

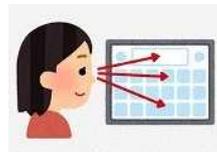


参加された方からは、「実際に施設の方へ行ってよかったです」「進路選択の参考になりました」「お風呂や食事も見てみたかったです」などのご意見ご感想をいただきました。

子どもたちが、卒業後の長い時間を過ごすことになるであろう施設等について知っていただけるよう、今後も情報を提供してまいります。保護者の皆さんの「知りたい」に進路担当が応じていきたいと思っておりますので、担任を通じてお気軽にお申し出ください。

高等部の取組

とくしま特別支援学校技能検定



卒業後の生活や就労に必要な技能や態度、意欲や自信を高めることを目的として県内の特別支援学校で行われています。2学期には高等部生徒2名がICT分野の検定（パソコンでの文書入力）を受検しました。練習問題に取り組んで準備し、緊張感を持って検定に挑み、審査を経てそれぞれの級の認定を受けました。

高等部 就業体験（見学・実習）



高等部では、卒業後の進路選択のため、1年生時から一人一人に応じて企業や事業所での見学や体験実習を行っています。感染状況の不安もあるところですが、就業体験については将来にかかわることですので、訪問先の現状を考慮しながら感染症対策を徹底した上で実施する運びとなっています。

数時間の見学から、1～3日間の体験実習と期間はそれぞれ調整しています。初めて訪れる場所、初めて会う人との関わり、様々な体験の中で、学校生活では気付かなかった一面に気づくこともあります。何よりも、卒業後の生活を保護者の方と共に考える機会となっています。

卒業学年になると、将来を見据えた上での実習を行います。まずは、見学を通して、様々な進路先を知っていただくことが大事だと考え、今後も提案してまいります。